国家卫生计生委疾病预防控制局
(全国爱国卫生运动委员会办公室)

2018 年 06 度全国法定伝染病情報

国家卫生计生委　www.nhfpc.gov.cn　　2018-07-17

2018 年 6 月(2018 年 06 月 01 日 00:00～06 月 30 日 24:00)内の、全国(台湾香港マカオは含まず、以下同)の法定伝染病例は 890,852 例(宮本注:前月は 874,008 例;16,844 人増)、死亡者数は 1,744 例(前月は 1,696 例; 48 人増)であった。

うち、

A(甲)類伝染病では、コレラで1名の発症報告(死亡はゼロ)、ペストは発症・死亡ともにゼロ、であった。

B(乙)類伝染病は SARS、ポリオ、H7N9 型鳥インフルエンザ及びヒト感染高病原性鳥インフルエンザで発症・死亡なし以外、残 22 種については、発症 309,880 例(前月は 336,439 例: 26,559 人減に転)、死亡 1,731 例(前月は 1,691 例:40 人増)が報告されている。報告されている発病データの病種ワースト 5 は、**ウィルス性肝炎、肺結核、梅毒、淋病と赤痢**(猩紅熱がランク外に、赤痢が 5 位にランクイン)で、B 類伝染病報告総数の 91%を占めていた。

同期、C(丙)類伝染病では、フィラリア症では発症・死亡ともにゼロだったが、その他 10 種の伝染病では、発症数は 580,971 例(前月は 537,569 例で 43,402 人増)、死亡は 13 例(前月は 5 例で 8 人増)であった。

発症データの 3 位までの病種は、手足口病、その他感染性下痢とおたふくかぜ(前月と同じ病種、同じ順位)であり、C(丙)類伝染病報告総数の 95%を占めていた。

(H7N9 鳥インフルエンザ患者と死亡者について:

1. 国家衛生計生委発表の 2017 年度月報上では、12 か月間累計発症者数は、646 人(死者数は 269 人)となりましたが、年度報告では発症 589 人、死亡 259 人と、それぞれに 57 人、10 人の発症者・死亡者が消し去られていました。(こういう場合、WHO への通報はどうするのでしょう。 恥ずかしいけどこんなに間違いがありましたと訂正を依頼できるのでしょうか。。)
2. 不思議なことに、2017 年 10 月以後は、散発的に患者が出ていたが、第 6 の波と呼べるものがまだ表れていません。2 月以後発症ゼロ、3月に一名死亡以後ゼロ行進。 6 月も発症・死亡ともに『ゼロ』でした。
3. 2017 年 10 月は発症死亡者ともにゼロ、11 月は 1 人(死亡 1 人)、12 月もゼロ、2018 年に入ってからは、この 1 月月報上の 1 名(新疆で発見、香港が発表)。 そして、2 月は 1 人発症 1 人死亡と発表。2 月 11 日に中山市での患者発生が報じられている)しているのですが 3 月の死亡者1人というのがこの患者の死亡を表しているとすれば、1～5 月までの累計で 2 名が発症、2 名が死亡のままです。
4. 中国政府の活動の一つに、動物のサンプル調査で陽性反応が出た場合に、活禽市場を暫時閉鎖するというものがあるようで、これが『活禽への直接暴露機会』を減らしているのかもしれません。 また、浙江省杭州市では、すでに市内での活禽交易市場は永久閉鎖されていますが、本当にこれだけで、第五波の数百人が第六波を起こすことなくほぼゼロになるのか、、、少し「楽観し過ぎ」かもしれません。
5. 現時点で未陥落の省は、青海省、寧夏回族自治区と黒竜江省の 3 省のみですが、黒竜江省では鳥間の集団発生が見られていますので、次の冬～春季に患者が出てくるという考え方を排除できません。
6. 浙江省、江蘇省、湖南、湖北省、北京市に続き、安徽省も患者のタイムリーな発表を意図的に隠し続けている様ですが、四川省アバ自治州若爾蓋などは刻々と変わる発生の状況をタイムリーに伝えており、これにより『デマ』に惑わされないようにとの工夫をしています。 8 月になって湖南省 CDC は単発患者 1 名を発表していますので、隠蔽体質の省から外せるかもしれません。もう少し様子見が必要。
7. 1 月からの FluTrackers との情報交換共同作業をする中で、1625 号患者(06 月 15 日発表)まで追いかけることができました(7 月に中側から FAO に発表された 12 人と、12 月 19 日に FAO が発表した累計患者数“1621 人”との差 20 人、それに 2 月 28 日の FAO“発表 1625”人との差についてはいまだに詳細を確認することができずにいます)。 WHO への報告主体である衛計委と FAO への報告主体農業部の間でも同国内なのに整合性もなく、また、2017 年年報を発表した衛計委自体も患者数を突然 57 人減じている(死亡者数も 10 人減!)事実がありますが、衛計委が WHO に「この患者とこの患者は誤報でした」という通知もしていない？？？

FluTrackers によると、『必ずしもすべての数字が WHO に報告されていない恐れがある』とされています。実際、FluTrackers は、NHFPC や省・市の HFPC や HFPB、それに香港 CHP の正式発表をもとに重複排除しており、中国政府当局の作為的な操作があるのかは別にして、乖離があります。中国当局から FAO への通報、これに基づく FAO の発表についても上で述べたように『謎』の部分が出てきています。これらの患者がどうなったのかは、衛生計生委が毎年行っている B 型肝炎患者数や梅毒患者数の操作と同じように『いなかったこと』にされるのかもしれません。。 患者が少なかったことから情報提供も僅か、、それでも弊所から FluTrackers への情報提供数は 415 本になりました（as of Jun. 15）。

8. 2014 年 1 月に浙江省 HFPC が発表した『確診患者は日日発表、死亡患者は翌月の月報にて発表。これが乙類伝染病としての管理だ』という内容の記事を弊研究所サイトにアップしています。『2014-01-27　浙江省の H7N9 鳥フル患者死亡者数発表に関して　https://wp.me/p66EIr-2lP 』をご参照ください。
9. また、家禽の養殖場（採卵用の養鶏場）での集団発生が、増えています。
2017 年 3 月には湖南省永州市、5 月には河北邢台市、河南平頂山市、天津市で発生。 6 月に入ってからは陝西省榆林市、内蒙古フフホト市、内蒙古ボグト（包頭）市、黒竜江省双鴨山市、8 月には安徽省滁州市鳥間、と 9 件が発生。
10. 2018 年に入り、3 月 5 日には陝西省銅川市王益区で発生、4 月 5 日には山西省臨汾市、18 日には寧夏回族自治区同心県での発生、5 月 9 日には寧夏回族自治区固原市でのアウトブレイクが農業農村部から発表されましたが、6 月 1 日には、遼寧省瀋陽市で発生(H7N9 に関する PPT に追記しています)。 これで昨年は 9 件、今年は 5 件、合計 14 件目の集団発生となります。 一人もヒト感染者が見つかっていない寧夏回族自治区における鳥間の集団発生が 2 件続けて出ていることが気がかりです。
11. 鳥間での病原性が低病原性から高病原性に変化しているようです（上海復旦大学の研究成果が『ランセット』感染症』に発表されたようです）が、今後の動向に注目必要ですね。
12. 但し、『2018-04-03　対家禽 H7N9 インフル強制ワクチンの接種実施 河南省』で書かれているように、H7N9 ワクチンを活禽に強制接種されれば、（鳥肉を食用した人体への影響の有無は別にして）鳥類間でのアウトブレイク件数が減るのかもしれません。これもまた要ウォッチ事項だねと FluTrackers と話をしています。

（⇒See　20180717 中国衛生部発表の全国法定伝染病発症死亡統計）

http://www.nhfpc.gov.cn/jkj/s3578/201807/2e222f8000be4f61b9f4e717af7a25d3.shtml

:::::::::::::::::::::::::::::::::　以下は中国語原文　::::::::::::::::::::::::::::::::

2018 年 06 月全国法定传染病疫情概况

国家卫生计生委　www.nhfpc.gov.cn　　2018-07-17

2018 年 6 月（2018 年 6 月 1 日 0 时至 6 月 30 日 24 时），全国共报告法定传染病 890852 例，死亡 1744 人。其中，甲类传染病中霍乱报告发病 1 例，无死亡报告，鼠疫无发病、死亡报告。乙类传染病中传染性非典型肺炎、脊髓灰质炎、人感染 H7N9 禽流感和人感染高致病性禽流感无发病、死亡报告，其余 22 种乙类传染病共报告发病 309880 例，死亡 1731 人。报告发病数居前 5 位的病种依次为病毒性肝炎、肺结核、梅毒、淋病以及痢疾，占乙类传染病报告病例总数的 91%。

同期，丙类传染病中丝虫病无发病、死亡报告，其余 10 种丙类传染病共报告发病 580971 例，死亡 13 人。报告发病数居前 3 位的病种依次为手足口病、其他感染性腹泻病和流行性腮腺炎，占丙类传染病报告病例总数的 96%。

附件：　2018 年 06 月全国法定报告传染病发病、死亡统计表